

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和2年7月29日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 京都府京都市東山区三十三間堂廻り町644	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 日本赤十字社京都府支部 支部長 山田 啓二

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	①京都第二赤十字病院 エネルギー管理標準（独自システム） ②京都府赤十字血液センター エネルギー管理標準（独自システム）
適 用 範 囲	①京都第二赤十字病院 ②京都府赤十字血液センター
導 入 年 月 日	①平成19年6月1日 ②平成22年12月28日
認 証 番 号	
基 本 方 針	・業務の性質及び規模に対して適切であること。 ・継続的改善及び職場環境の維持改善に関する配慮がなされていること。 ・関連する法規制及び会社の方針に則していること。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	・3か年計画による省エネルギー中期目標を設定し、年度目標を設定したうえで、以前からの取り組み継続、徹底し、前年度より排出量を減らすことを目標とする。
目標を達成するための取組の内容	・施設別の電気、ガス、冷暖房用燃料等のエネルギー使用量を把握する。 ・データを年度毎にまとめて、経年的な推移を見る。 ・設備の新設、更新時には変圧器や電動機、照明器具、ボイラ、空調機などについて高効率機器を採用する。 ・効率的な作業、運転に繋がるよう、点検業者等と連携して情報交換を行う。
目標を達成するための取組の進捗状況	・各フロアでこまめに消灯し、すぐに使用しない機器の節電モードへの切替を推進している。 ・使用状況によって全灯と半灯を使い分けるなどの工夫を行っている。 ・情報端末を含めた機器のスタンバイモードを活用している。 ・施設設備のオール電化を進めている。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・当初の計画どおりに取り組むことができている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	・これまで違反及び行政当局からの指摘はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	・評価や見直しの必要性については、原則として年度毎に検討している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。